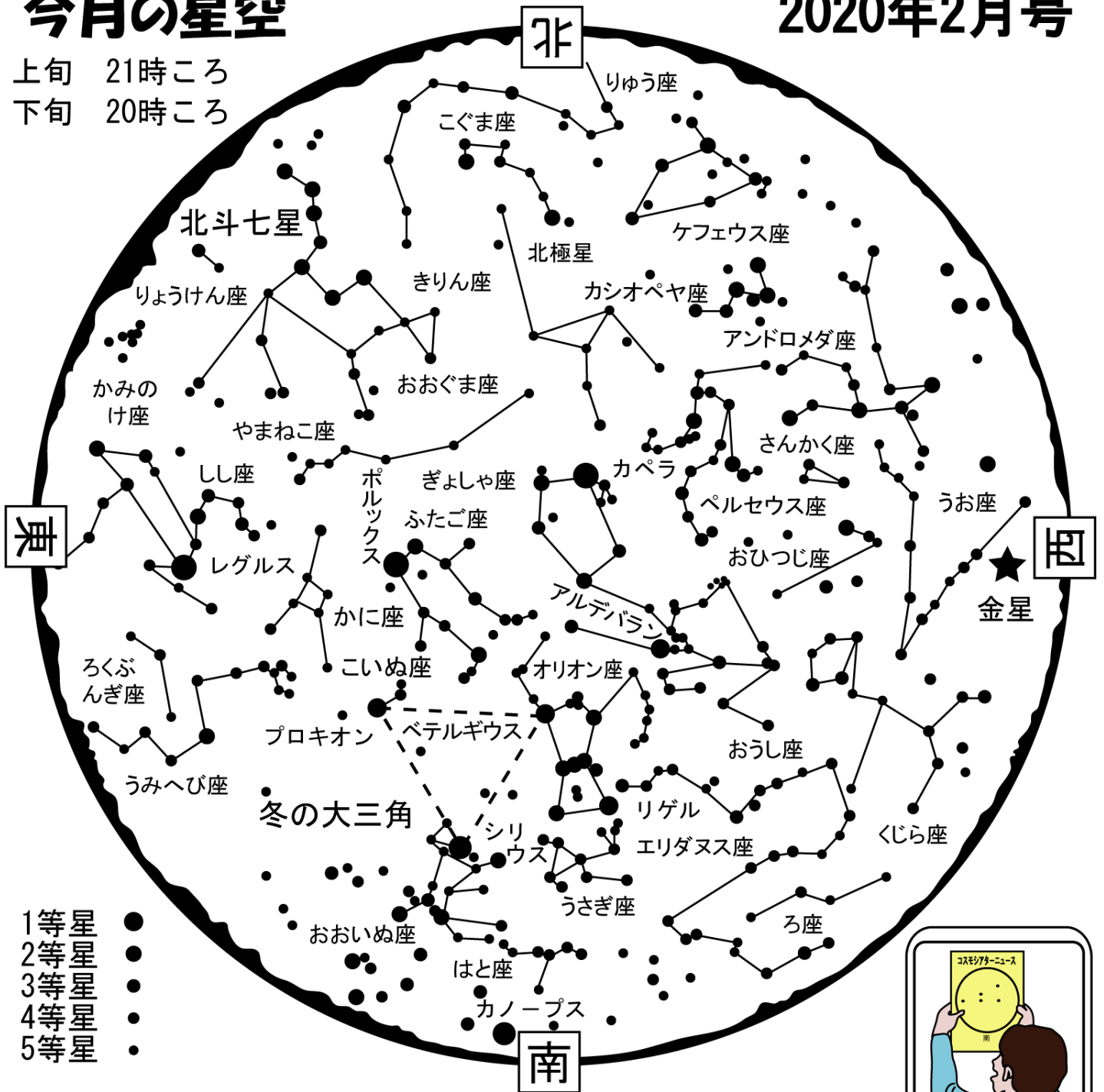


コスモシアターニュース

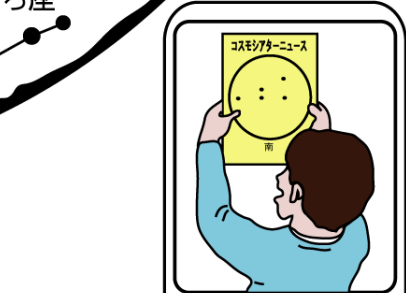
今月の星空

2020年2月号

上旬 21時ころ
下旬 20時ころ



- 1等星 ●
- 2等星 ●
- 3等星 ●
- 4等星 ●
- 5等星 ●



自分の向いている方向を下にして、見てください

今月の惑星の動き

- 水星：10日ころ、夕方の西の低い空に見えます。明るさは、-1等星です
- 金星：宵の西の空に見えます。明るさは-4等星です。21時～21時半ころに沈みます。
- 火星：明け方、南東の空に見えます。明るさは1.5等星なので、見つけにくいでしょう。
- 木星：明け方、南東の低い空に見えます。明るさは-2等星です。20日の明け方、月と並んで見えます。
- 土星：下旬から、明け方、南東の低い空に見えます。明るさは1等星です。

今月の月の満ち欠け

上弦：2日(日) 満月：9日(日) 下弦：16日(日) 新月：24日(月)

10日(月)、水星を見つけてみよう

水星はいつも太陽に近く、見つけるのが難しい惑星です。そんな水星ですが、時々太陽から見かけ上は離れて見える時があります。今月の10日(月)が、ちょうどその時です。今回は、太陽の東側に離れるので、東方最大離角(とうほうさいだいいりかく)と呼びます。ただ、この日だけ見えるのだけではなく、前後1週間ほど見やすい時期が続きます。水星は、極端に明るくないので、すぐには分かりません。こんな時は、目印になる、金星を見つければいいのです。

見やすい時間は、18時30分～50分ころ、西の地平線付近まで開けた場所です。このころ、金星が大変明るく輝いているのですぐにわかるはず。そして、金星から下に目をうつすと水星が見つかります。水星は金星に比べて暗いのですが、金星の下側に見える星は、水星より明るい星がないので、もし星が見つければ、水星になります。

20日(木)、明け方、南東の低い空で、月と木星が並んで輝く

20日(木)の明け方の午前5時ころ、南東の空から細い月が昇ります。そして、この月と上側に並んで続いて昇ってくる明るい星が、木星になります。木星が明るいので、大変美しい眺めとなります。なお、見やすいのは、月の高さが少し高くなる午前6時ころになります。また、月の出から日の出が近く、朝がすぐにやってくるので、見えるのは午前6時30分ころまでです。木星が明るいので、快晴に恵まれれば、月と木星が並んだ美しい姿が楽しめるでしょう。

27日(木)、西の空で、月と金星が並んで輝く

27日(木)の夕方、南西の空に三日月状の細い月が輝きます。そして、この月のすぐ右上に、金星が並び美しい眺めとなります。見やすいのは、18時30分～19時ころです。なお、18時30分ころは夕焼けが残っている状態ですが、金星が明るいので、早めにご覧いただくほうが、鮮やかに見えるでしょう。なお、翌日の28日(金)は、月が金星の左上に移動し、間隔が少し広くなりますが、比較的接近した状態が続きます。

冬の明るい星を見よう

冬の夜空は、右のように冬の大きな三角や冬のダイヤモンドといった分かりやすい星の並びがあります。

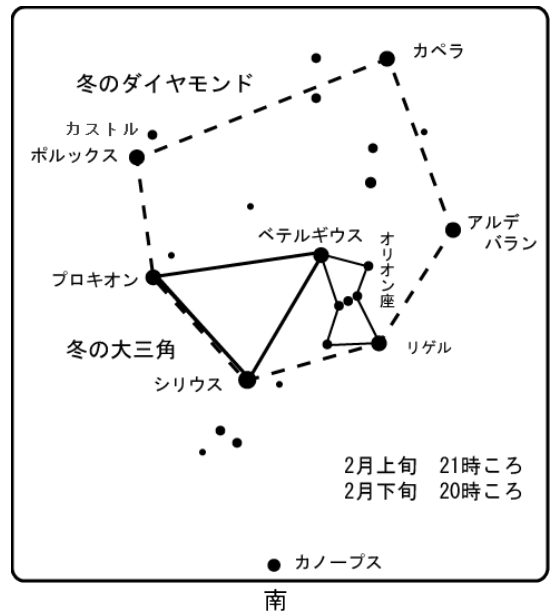
これらの中で、最も明るいのはシリウスです。プロキオンも明るく、冬の大きな三角は大変目立つ存在となるはず。ただ、夕方ではまだ高さが低く、南の空高く見えるのは、21時ころになります。

冬のダイヤモンドは冬の六角とも呼ばれ、大変大きく広がっています。また、カペラは頭の真上を越してやや北の空より、ポルックスはほぼ頭の真上になります。

なお、右の図は、南の空を眺めたときの星空で、上が北、右が西、左が東となっています。

冬の明るい星の名前

冬の明るい星は、古くから注目され、日本でも特別な名前をつけて読んでいました。ぜひ明るさ比べとともに、色の違いなども観察してください。



星の名前	星の色	明るさ	星座	日本での固有名 呼び方の理由
シリウス	青白	-1.46 等星	おおいぬ	青星(あおぼし) 青く見えるため
カノープス	白	-0.72 等星	りゅうこつ	おうちやくぼし 少ししか空に見えないので
カペラ	黄色	0.08 等星	ぎよしゃ	虹星(にじぼし) 低い時いろいろな色に見えるため
リゲル	青白	0.12 等星	オリオン	源氏星(げんじぼし) 源氏の白旗の色に見えるため
プロキオン	白	0.38 等星	こいぬ	いろしろ ずばり、白く見えるため
ベテルギウス	赤色	0.5 等(変)	オリオン	平家星(へいけぼし) 平家の赤旗の色に見えるため
アルデバラン	オレンジ	0.85 等星	おうし	すばるのあと星 すばるのあとに昇ってくるため
ポルックス	オレンジ	1.14 等星	ふたご	金星(きんぼし) 金色に輝いて見えるため
カストル	白	1.58 等星	ふたご	銀星(ぎんぼし) 銀色に輝いて見えるため

※星の明るさは、数が少ないほど明るくなります。また、ベテルギウスの明るさの(変)は、明るさが変わる変光星(へんこうせい)という意味です。カノープスは、高度が低く、大気の影響で実際より赤く、暗く見えます。ベテルギウスは、1月現在、1.5等星程度で、ポルックスより暗くなっています。